

第1表

重要物資の国際比価 (31年12月末現在)

(注) 括弧内は前月比騰落

品目	単位	区分	日本		米 国	英 国	そ の 他
			邦貨建	外貨建			
織 維	綿糸(20番手)	封度	M ¥ 198.1	¢ 55.0(-1.9)	¢64.0~65.0(0)	¢ 62.3(+0.4)	¢ホンコン42.8(+1.1) イタリア55.2(0)
			E 190.8	53.0(0)			
	綿織物(2003)	碼	M 53.75~54.0	14.9~15.0(-0.4~-0.3)	16.5(0)		ホンコン14.2(+0.2)
			E 50.4	14.0(-0.7)			
人絹糸(ビス120D)	封度	M 250.0	69.4(-3.1)	86.0(0)	62.9(0)	イタリア82.4(0)	
		E 187.2	52.0(+1.0)				
スフ糸(30番手)	"	M 136.5	37.9(-1.0)	76.8(0)	61.0(0)		
		E 144.0	40.0(0)				
鉄	銑鉄(鋳物用2号)	屯	Q 31,000	\$ 86.1(0)	\$ 62.0(0)	\$50.0(+2.8)	ベルギー72.0(0) フランス59.5(0)
			Q 47,700	132.5(0)	111.9(0)	97.7(+4.8)	ベルギー103.0(0) イギリス95.0(0)
			M 67,000	186.1(-22.2)	123.2(+0.7)	124.3(+4.8)	ブラジル加盟国 実勢価格114.0~118.0(+5.0) 価格116.0(0)
鋼	棒鋼(19ミリ)	"	E 61,500	170.8(+10.8)	107.3(0)	104.1(+10.3)	西ドイツ117.0(0) ベルギー120.0(0)
			Q 54,700	151.9(0)	103.0(0)	110.1(+6.9)	西ドイツ147.5(0) フランス153.8(0)
			Q 62,700	174.2(0)			
非鉄金属	電気銅	封度	Q 154	¢ 42.9(0)	¢ 36.0(0)	¢ 34.0(-0.8)	¢ベルギー 34.5(-0.4)
			M 227	63.0(+3.8)	33.0(-0.7)	15.8(0)	Mメキシコ 14.6(+0.3)
	電気鉛	"	Q 64	17.9(0)	13.5(0)	M14.8(0)	Mメキシコ 12.3(+0.3)
			Q 50~59	14.0~16.4(0)	13.5(0)	M12.8(0)	Mメキシコ 12.3(+0.3)
	地金	"	M 395	109.7(-1.2)	99.5(-9.3)	M99.8(-6.8)	Mシンガポール 95.3(-7.3)
			Q 91~100	25.2~27.7(0)	27.1(0)	24.6(0)	カナダ 24.5(0)
窯業	セメント	屯	M 6,400	\$ 17.8(+0.3)	\$21.0~23.5(0)	\$ 14.0(0)	\$西ドイツ16.5~18.3(0) フランス15.8(0)
			E 6,300~6,750	17.5~18.8(0)			西ドイツ13.5~14.5(0)
化学製品	硫酸ソーダ(固型)	屯	E 21,067	58.5(0)	37~43 (-3.0~+3.0)	52.0(0)	西ドイツ49.0(+2.0) イタリア50.0(+1.0)
			M 46,000	127.8(0)	82.0(0)	80.0(+1.0)	
			Q 80,799	224.4~226.6(0)	CIF 209.0(0)		カナダ C I F 200.0(0)
動植物製品	大豆原油	ドラム	M 27,500	76.4(-1.4)	52.0(-0.5)	59.0(0)	シンガポール 34.6(-0.5)
			M 129	¢ 35.8(-0.3)	¢ 36.8(+0.3)	¢37.3(-1.4)	
			M 83	23.0(+0.8)	13.5~14.5 (-1.0~-1.5)		
燃料	石炭(粘結炭)	屯	M 7,050	19.6(0)	\$ 12.9(0)		\$ フランス 25.5(+0.2)
			M 10,950	30.4(2.2)	C&F 34.4(0)	20.2(0)	

- 備 考
- 区分欄、Qは建値、Mは市中価格、Eは輸出価格。
  - 織 維
    - 海外価格はロイター電による。
    - ホンコン綿布は2003番相当のもの。
    - 人絹糸海外価格は150D価格を採用(わが国での150Dの生産取引はきん少)
    - 英国のスフ糸は36番手単糸綿紡式によるもの。
    - 前月の米國スフ糸価格は76セントに訂正。
  - 鉄 鋼
    - 日本のQ(生産者価格)は銑鉄では富士製鉄1月積建値、鋼材では八幡製鉄2、3月積建値より全国平均運賃銑鉄1,000円、鋼材1,300円をそれぞれ差し引いて算出。
    - 海外は銑鉄
      - ベルギー 鋳物用高磷銑鉄ニユツソン(基準地)渡し
      - フランス " ロングイ( " ) "
      - 英 国 ベージック銑
    - 英国は公示価格よりわが国同種運賃を差し引いて算出。
    - 米國は U. S スチール社発表値。
    - 西ドイツは公示価格から取引税4%を差し引いた。
    - 厚板は米國、英國9~38ミリ、ブラジル加盟国9.5~25ミリ。ベルギーはトーマス鋼。
  - 非鉄金属
    - アルミの国内建値は精錬業者販売価格。
    - 亜鉛、アルミ国内建値の安値は輸出原材料向け特価。
  - セメント
    - フランスは包装代を含まない。
  - 化学製品
    - 苛性ソーダはアンモニア法製品価格。
    - レーヨンパルプ国内価格は7~12月期建値。海外価格は7~9月C I F日本価格。
  - 動植物製品
    - 生ゴムの英相場はRSS1号。
    - 米國原皮鉸柄バックスライト紐現物相場、国内相場は取引単位が枚数のため概算。
  - 燃 料
    - 石炭一内外とも約8,000 cal 国内炭は本州特定製鋼所向け31年度下期直売炭価。
    - 重油一米國はニューヨークタンク車価格フランスは重質 No. 2 精製工場渡し、わが国は大手筋鉄鋼メーカーの購入価格。
- (7) 厚板は米國1.7ミリ、英國3ミリ以下、西ドイツ、フランスには寸法エキストラそれぞれ7.93ドル、4.35ドルを加算。

第 2 表

## 海外価格を100とするわが国価格指数の推移

(注) 備考は第1表に準ず。卸売物価指数は昭和25年6月基準指数の比較。

品目	区分	基準国	28年9月	29年9月	30年9月	30年12月	31年9月	31年10月	31年11月	31年12月
綿糸	M	米 国	105.3	90.5	83.9	76.2	91.2 ~92.7	83.8 ~85.2	87.5 ~88.9	84.6 ~85.9
綿織物	M	"	102.5	86.2	84.8	87.0	~93.3	~96.4	~92.7	90.3 ~90.9
人絹糸	M	イ タ リ ア	91.9	66.7	65.5	77.5	90.3	83.3	88.0	~84.2
スフ糸	M	英 国	74.2	57.5	59.7	65.7	66.2	62.0	63.8	62.1
棒鋼	Q	ベルギー	117.2	89.4	108.6	108.6	120.4	120.4	128.6	128.6
厚板	Q	西 ド イ ツ	107.1	91.2	108.3	108.3	128.6	120.3	129.8	129.8
電気銅	Q	米 国	135.0	126.9	102.0	102.1	116.5	129.4	119.2	119.2
硫酸	E	西 ド イ ツ	126.2	118.4	115.1	119.6	117.0	124.5	124.5	119.4
苛性ソーダ	M	英 国	179.1	136.9	134.1	146.2	162.1	163.8	161.8	159.8
レーヨシパルプ	Q	カ ナ ダ	123.4	116.8	115.4	115.4	112.2 ~113.3	112.2 ~113.3	112.2 ~113.3	112.2 ~113.3
大豆原油	M	米 国	121.0	182.9	185.3	164.4	148.3	151.1	148.2	146.9
生ゴム	M	シンガポール	115.1	115.0	110.9	100.0	100.7	104.6	102.8	103.5
原皮	M	米 国	172.3	149.4	138.9	136.3	124.6 ~136.3	133.1 ~146.9	138.8 ~153.1	158.6 ~170.4
卸売物価指数	{	米 国	141.0	136.0	133.4	134.2	138.5	137.9	138.9	—
		西 ド イ ツ	130.8	126.1	122.5	121.7	129.1	127.8	—	—

## 解 説

12月中の海外市況は砂糖、綿花、鉄鋼など引続き値上りしたのもあつたが、小麦、大豆油、ゴム、皮革、錫、銅などは軟化し、また不定期船の海上運賃もようやく高値是正をみせるなど、中東紛争以来堅調味を増した海外物価はやや着着きを取戻した感が深い。すなわち、英国ロイター、米国ダウジョーンズ両国際商品相場指数はそれぞれ2%、2.5%の下押しを示した。

一方わが国でもスエズ紛争をめぐる国際政局の危機感が漸次うすれ、繊維、鉄鋼など軟化したものの、それらも高値訂正の域を出ず、他方燃料、木材、セメント、砂糖、雑穀などは騰貴し、卸売物価指数は月中0.8%の続騰をみせた。このため国際比価は、大勢的には前月につづいて悪化の方向をたどつた。

(1) 織 維 国内の繊維市況は、中東動乱の拡大人気がうすれるとともに、原綿、原毛の追加割当が発表されたことなどを弱材料として、中旬以降綿糸、人絹糸中心に高値訂正に転じ、相場は実需好調の生糸をのぞき軒並み下押しした。一方海外市況はホンコンの綿糸、綿織物および英国の輸出向け綿糸が微騰のほか、総じて保合いに推移している。

この結果、国際比価関係はわが国の値下りを主因に割安幅を拡大した。なお国内価格に対する輸出価格の割安という、いわゆる二重価格の関係は、綿製品についてはほとんど解消に向い、人絹糸もその幅を縮めた。

(2) 鉄 鋼 世界的に需給関係は引続き窮迫傾向にあ

り、価格も堅調に推移している。まず、英国の国内価格は12月17日以降平均6%引上げられ、輸出価格も棒鋼中心にトン当たり5ドル程度の値上げがみられた。次にジューマン・プラン加盟国の圏内価格はすえ置きながら、輸出カルテル価格は各品種とも上昇(棒鋼で5ドル騰貴)している。一方、米国は鉄道運賃の値上りを理由に輸出価格を引上げたほか、国内価格についてもエキストラ(規格料)の値上げを実施している。また同国の製鋼操業率は100.5%とフル操業をつづけており、スクラップ価格も前月比5.3ドル騰貴して65.2ドルへ上昇、従来の最高値を示現している。なお、中東紛争の鉄鋼市況に与えている直接的な影響は、いままでのところ軽微であるが、船腹、重油の供給減による鉄鋼生産の頭打ち(英、仏、ベルギー)、大型タンカー建造意欲の旺盛化による厚板の需要増(米、英)など、需給事情を一層窮迫の方向にむけていることはいなめず、今後の推移が注目される。

わが国では、市中相場は生産の好調と輸入の順調から軟化し、建値も前月大幅に引上げた後だけに保合いであつたが、いずれもその水準はかなり高い。また輸出価格は引続き騰勢をみせた。したがつて、国際比価関係はやや改善されたが、輸出価格ではわが国の騰貴率が大きく、対外割安幅を一層大きくした。

(3) 非 鉄 海外市況はスエズ問題が漸次着着き模様にあるため、相場も銅が弱含みに推移、錫も高値訂正がかなり進んだ。

一方わが国では、建値がすえ置かれたのに対し、市中相場は依然内需の活況に加え、輸入のおくれとストによる減

産のため、銅が続騰、亜鉛も久々に建値水準まで回復、また錫は軟化したとはいえ小幅にとどまつた。このため、わが国価格の割高の幅は総じて一段と拡大した。

(4) **その他の商品** 硫酸、苛性ソーダはわが国の保合いに対し、欧州筋は騰貴したため、また大豆原油は内外とも軟化した、わが国の値下り幅が大きいため、いずれも

従来の対外割高幅をわずかながら縮小した。しかしセメント、原皮はわが国の騰貴に対し、西欧は保合いないし軟化、また重油は内外とも堅調ながらわが国の値上り幅が大きいため、対外割高幅はかえつて拡大した。なお、レーヨンパルプは内外とも保合いに推移したため、比価関係にも格別の変化はみられなかつた。

## 日 誌 (昭和 31 年 12 月)

### 国 内

- |  |  |
|--|--|
| <p>1日 ○大蔵省、株価高騰に対し証券界の自主的抑制を要望</p> <p>3日 ○本行、米ドル表示外国為替引当貸付利率引上げ実施(現行日歩8厘を8厘5毛へ)</p> <p>6日 ○大蔵省、ポンドのMOF先物買相場を直物相場に比し年率1%(10日につき28銭)引下げ<br/>○東証ダウ平均566円30銭と開所以来の最高値示現</p> <p>7日 ○食管借入限度引上げ(3,500億円を4,500億円へ)<br/>○本行、ビルマ向け米国余剰綿花の委託加工貿易に輸入決済手形制度を適用</p> <p>8日 ○国会、スト規制法の存続を議決</p> <p>10日 ○本行、スウェーデン国通貨表示外国為替引当貸付利率引上げ・実施(現行日歩1銭1厘を日歩1銭1厘5毛へ)<br/>○日本、フィンランド貿易支払協定調印(現行オープン勘定方式廃止)</p> <p>11日 ○大蔵省、米ドルMOF定期預金金利引上げ(年<math>\frac{1}{2}</math>%)32年1月1日より実施</p> <p>12日 ○東京証券取引所、日証金融資規制強化措置(保証金率30%を40%に引上げなど)を実施</p> | <p>15日 ○大蔵省、銀行券最高発行限度引上げ実施(5,100億円を6,500億円へ)</p> <p>16日 ○本行、短資業者に緊急融資(45億円)</p> <p>18日 ○国連総会、日本の加盟を可決</p> <p>19日 ○電源開発調整審議会、電力開発新5か年計画を決定</p> <p>20日 ○第26通常国会召集</p> <p>23日 ○石橋内閣成立(大蔵・池田、通産・水田、経企・宇田各相就任)</p> <p>24日 ○農林省、31年産米陸水稲の最終推定実収高発表(6,976万石)</p> <p>25日 ○臨時税制調査会および地方制度調査会、税制および地方財政対策を内閣に答申<br/>○本行、フィリピン賠償に伴う輸出所要資金に輸出前貸手形制度を適用</p> <p>26日 ○資金運用部、市中保有金融債など債券買入れ実施(80億円)</p> <p>28日 ○本行、フランス共和国通貨表示輸出手形に外国為替引当貸付制度を適用</p> <p>29日 ○「在外仏債の処理に関する法律」公布</p> |
|--|--|

### 海 外

- |  |   |
|--|---|
| <p>1日 ○米連邦住宅局(FHA)、保証条件の最高金利を4<math>\frac{1}{2}</math>%から5%に引上げ、12月4日より実施<br/>○上海で日本商品見本市開催(26日まで)</p> <p>3日 ○中華民国・スペイン貿易協定調印</p> <p>4日 ○米連邦準備制度加盟銀行および被連邦保険銀行の定期預金金利最高限度を2.5%より3%へ引上げ<br/>○米関税委員会、ギンガム公聴会を開始<br/>○第21回国際小麦理事会ロンドンにて開会</p> <p>5日 ○ベルギー国立銀行、公定歩合を従来の3.0%から3.5%へ引上げる旨発表(6日より実施)</p> <p>10日 ○第3回国際錫理事会ロンドンにて開会<br/>○IMF、対英米貨売却などを発表</p> | <p>12日 ○インド増税案下院通過</p> <p>19日 ○中共へ日本より初の技術調査団出発</p> <p>20日 ○英、自動車賦課購入頭金を50%から20%に引下げ<br/>○インドネシア(スマトラ)において軍反乱ほつ発</p> <p>21日 ○米・プ大統領、関税委員会の別珍輸入関税引上げ勧告に対する回答(24日予定)を延期の旨発表<br/>○米・輸出入銀行、5億ドルの対英借款供与を決定</p> <p>22日 ○英仏軍スエズ撤退</p> <p>26日 ○米国務省、来年度毛織物輸入数量の国別割当制廃止を発表</p> <p>27日 ○ラオス、対日賠償請求権放棄通告</p> <p>29日 ○仏、1957年度予算成立<br/>○ビルマ内閣更迭、ヌー前首相再度組閣</p> |
|--|---|